



2023年12月14日
東日本旅客鉄道株式会社
首都圏本部

「Yamanote Line Museum」の新たな拠点が東京駅構内に誕生します！

- いつもの駅で気軽にアートを愉しむ機会を提供する「Yamanote Line Museum」が、ベックスコーヒーショップ丸の内南口店の開業に合わせ、新たな拠点として店内にてアート作品の展示・販売を開始します。
- 「Yamanote Line Museum」は、現在6箇所(上野駅、高田馬場駅、新橋駅、四ツ谷駅、東京駅STATION DESKグランスタ丸の内、秋葉原駅)で展開しています。
- ベックスコーヒーショップ高田馬場店に続き2つ目のコーヒーショップ併設型ギャラリーとなっており、コーヒーを飲みながら作品を間近で観賞することができます。また、不定期でアーティストの作品が入れ替わり、訪れるたびに新しいアートとの出会いを愉しめます。
- 今回第1弾として、4名のアーティストを迎えたグループ展を開催します。作風が異なる魅力ある作品、合計22点を展示・販売します。
- お気に入りの作品は、展示作品と一緒に掲示されている2次元コードを読み込んでいただくと、JRE MALL「東京感動線ショップ」にてご購入いただけます。

【展示・販売作品一例】



【まちむすめ-16】



【National Flags S 1/30】



【無限の青い椅子/ColorSounds】



【Crowds 58 #Orange】

■展示概要

- (1) 展示場所: 東京駅丸の内南口改札内
ベックスコーヒーショップ丸の内南口店内
- (2) 展覧会名: WASABI GROUP EXHIBITION Vol. 01
- (3) 展示開始日: 2023年12月20日(水)
- (4) 営業時間: 6:30~22:00

※店舗営業時間などの最新情報は以下からご確認ください。

<https://foods.jr-cross.co.jp/>

※展示作品はJRE MALL「東京感動線ショップ」で購入いただけます。

<https://www.jreastmall.com/shop/c/cF82902/>



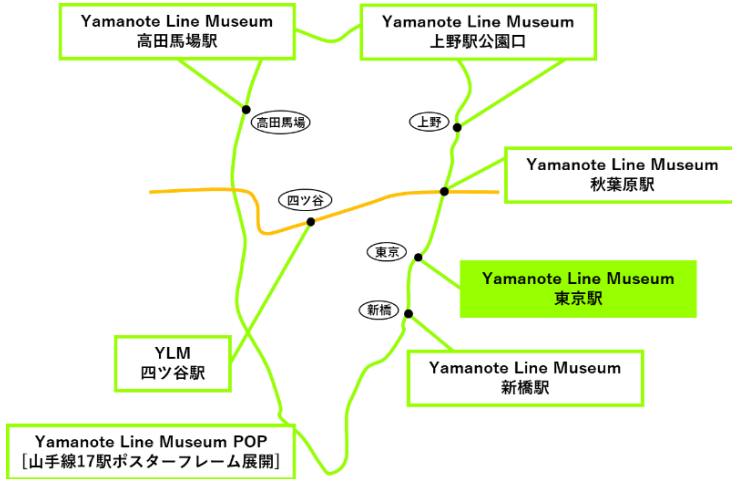
店舗外観イメージ

(5)アートディレクション：株式会社NOMAL <https://nomal.jp/>

「チャレンジする人の、背中を押す事業を創り続ける」というミッションのもとに、各種アート事業を展開しています。作品点数3,000点以上のアート通販サイト「WASABI」や、現代アート通販サイトおよびウォールアートで企業をより魅力的に魅せるオフィス×ウォールアート事業を展開しています。



■Yamanote Line MuseumとYLMの拠点



Yamanote Line Museum コンセプトワード
「山手線がアートの環に。
つなげる、つながるミュージアム構想」

山手線やその周辺の駅でのアートギャラリーの展開をさらに推進していきます。いつもは最短距離で通り過ぎる駅に、対話や刺激をもたらすアート作品を展開し、アートを身近に感じる、心豊かな都市生活空間を創造していきます。

■Yamanote Line Museum ウェブサイトについて
URL: <https://yamanotelinemuseum.com/>

■「東京感動線／TOKYO MOVING ROUND」について

- JR東日本はグループ経営ビジョン「変革2027」において、「鉄道を起点としたサービス提供」から「ヒトを起点とした価値・サービスの創造」に転換し、地域の皆さまの「心豊かな生活」の実現を目指しています。
- 移動を含めた日常生活の利便性を高めるサービスに加え、多様なまちや人の個性を引き出し、駅と駅、駅とまち、人とまち、人と人のつながりを創り出すことで、心豊かな都市生活空間を創造していきます。
- その一環として「東京感動線」はアートの取組みを手掛け、いつもの駅で、気軽にアートを愉しむ機会を提供しています。さまざまなキュレーターとともに“アートとつながる日常”をテーマに、エキナカ施設などの一角にアートを展示し、気軽にアートと触れ合える機会を提供するギャラリーを展開しています。

■「東京感動線」公式ウェブサイト・SNSアカウント

公式ウェブサイト <https://www.jreast.co.jp/tokyomovinground/>
X https://twitter.com/tokyomoving_o/
Instagram <https://www.instagram.com/tokyomovinground/>
Facebook <https://www.facebook.com/tokyo.moving.round.jp/>
ハッシュタグ #東京感動線 #TokyoMovingRound

※画像は全てイメージです。

【第1弾アーティスト紹介】

OZ-尾頭-山口佳祐

(<https://oz-te.com/>)

日本特有の思想や感覚、現代の発想や画法を融合し、万物に秘められた”何か”を追求しながら筆を走らせ続けている画家。10代前半から制作活動を開始し、10代後半には地元長野市を中心にここに店舗内外装を数多く手がけ始める。近年は大絵馬奉納や現代絵図を描き、文化の継承を進める傍ら、海外での個展開催、アートフェスティバルへ参加するなど表現は多岐に亘る。



ArTaro

(<https://artaro.jp/>)

2010年よりアートのコレクターとして、絵画、版画、ブロンズ、古美術、茶器、陶磁器、西洋アンティークなど500点以上の作品を購入。2021年に自身も作家としてアーティスト活動を開始。レンガのように積みあがったマス目を描くことで様々な事象を表現した「Bricks」シリーズなどを制作。偶然性に頼ることが多い「抽象(欲や冒険心)」の表現を無数のBricksという「秩序(規律)」で抑え込むArTaroの世界観。個展・グループ展・コンペティションでの受賞など幅広く活躍している。



神山麗子

(<https://wasabi-artdesign.com/artist/kamiyamareiko>)

東京工芸大学芸術学部デザイン学科卒業。
東京を拠点に活動中。
聞こえる絵、見える音。色と音との関係から絵が生まれる。旅するように毎日を送り、見るもの、聞くもの、感じるものを体を通して色と化す画家でアーティスト。



日比谷泰一郎

(<https://taiichiro-hibiya.com/about/>)

武蔵野美術大学大学院日本画コース修了。
国内外の個展、グループ展多数。
何気ない日常をドローイングし作品化することによって、ここに存在していたという事実を証明するような、日常の抽出を試みている。繰り返される日常の価値、意義を再考するきっかけを生み出していく。

